

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料3-4
提出年月日	令和5年1月31日

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.3.2 想定事故2

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	全般	記載を統一しました。(下線部参照) (旧) A (B) ピット (新) A (B) <u>一使用済燃料ピット</u>	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	全般	同上	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	取りまとめた資料-1	以下の通り記載を適正化した。(下線部参照) (旧) <u>代替屋外給水タンクを廃止し、新たに代替給水ピットを設置するため記載を見直し</u> (新) 屋外に設置していた自主対策設備の淡水源である「代替屋外給水タンク」を 溢水対策に伴い廃止し、新たに「代替給水ピット」を設置するため、関連する 記載を修正した。	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-1	誤記修正(下線部参照) (旧) このため、緩和措置がとられない場合には、 (新) このため、 <u>使用済燃料ピット水位が低下することから、緩和措置がと</u> <u>られない場合には、</u>	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-2	誤記修正(下線部参照) (旧) 重大事故等対策における設備と手順の関係を (新) 重大事故等対策における設備と操作手順の関係を	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-3	以下の通り誤記を修正した。(下線部参照) (旧) 2次系純水系統及び燃料取替用水ピットからの注水操作を行い、使用済燃料 ピット水位の上昇が確認できなければ、使用済燃料ピット補給水系の故障と 判断し、使用済燃料ピット補給水系の回復操作、 <u>使用済燃料ピット可搬型エ</u> <u>リアモニタ、使用済燃料ピット水位(可搬型)及び使用済燃料ピット監視カ</u> <u>メラ空冷装置の設置</u> を行う。 (新) 2次系純水系統及び燃料取替用水ピットからの注水操作を行い、使用済燃料 ピット水位の上昇が確認できなければ、使用済燃料ピット補給水系の故障と 判断し、使用済燃料ピット補給水系の回復操作を行う。	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-7	以下の通り女川記載実績を反映(下線部参照) (旧) 可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水は (新) <u>可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水準備操作は</u>	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	8	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-10	以下の通り誤記を修正した。(下線部参照) (旧) 初期条件の初期水温は、評価条件の40℃に対して最確条件は装荷炉心毎の水温であり、 (新) 初期条件の初期水温は、評価条件の40℃に対して最確条件は装荷炉心毎に異なり、	
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-11	以下の通り誤記を修正した。(下線部参照) (旧) 初期条件の初期水温は、評価条件の40℃に対して最確条件は装荷炉心毎であり、 (新) 初期条件の初期水温は、評価条件の40℃に対して最確条件は装荷炉心毎に異なり	
11	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-14	以下の通り誤記を修正した。(下線部参照) (旧) 可搬型大型送水ポンプ車による注水準備操作は事象発生の5.7時間後に完了することから、対して十分な時間余裕がある。 (新) 可搬型大型送水ポンプ車による注水準備操作は事象発生の5.7時間後に完了することから、時間余裕がある。	
12	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-13	以下の通り記載を適正化した。(下線部参照) (旧) パラメータに与える影響を評価し評価結果を以下に示す。 (新) パラメータに与える影響を評価し、評価結果を以下に示す。	
13	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-13, 19 添7.3.2.4-4	記載の適正化 (旧) 5.8時間後 (新) 約5.8時間後	
14	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	17, 25 添7.3.2.4-6	同上	
15	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-14 添7.3.2.4-4	以下の通り女川記載実績を反映した。((2) 操作時間余裕の把握) (旧) による注水を開始する時間である事象発生の5.7時間後に対して十分な時間余裕がある。 (新) による注水準備操作は事象発生の5.7時間後に完了することから時間余裕がある。	
16	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	18 添7.3.2.4-6	同上	
17	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	7.3.2-21~23	用語統一 (下線部参照) (旧) 「、」 (新) 「,」	
18	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	27~29	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
19	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	添7.3.2.1-1	以下の通り記載を適正化した。(下線部参照) (旧) SFP (新) <u>使用済燃料ピット</u> (旧) inch (新) <u>インチ</u>	
20	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	添7.3.2.1-1	同上	
21	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	添7.3.2.1-1	以下の通り記載を適正化した。(下線部参照) (旧) A-使用済燃料ピット及びB-使用済燃料ピットの使用済燃料ピット水浄化冷却設備出口配管に各1本設置されている (新) A-使用済燃料ピット及びB-使用済燃料ピットの使用済燃料ピット水浄化冷却設備出口配管に各1本設置されている	
22	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	添7.3.2.1-4	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 1回程度/週 (新) 1回/週	
23	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.X.Y)	添7.3.2.1-3	同上	
24	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.X.Y)	添7.3.2.5-5	以下の通り記載を修正した。(下線部参照) (旧) 使用済燃料ピットから水の漏えいが発生する可能性のある①～⑤の事象について検討した。 (新) <u>使用済燃料ピットからピット水の漏えい</u> が発生する可能性のある①～⑤の事象について検討した。	